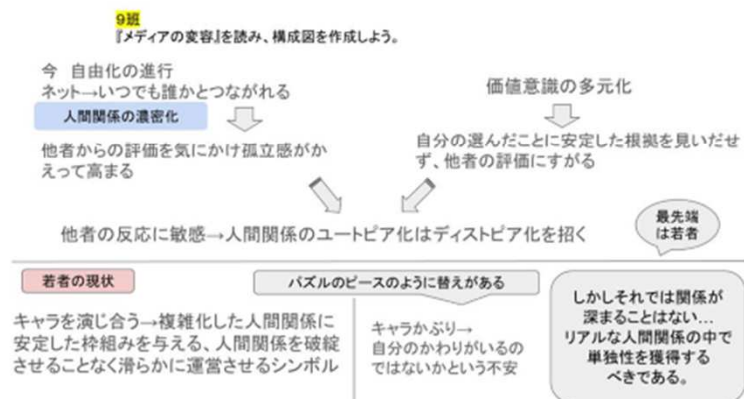


【授業における活用事例】

〈Googleスライドを使って評論文の構成図をグループで作成〉



〈感想をドキュメントで提出〉



【授業について】

- ・ Googleスライドを使って、班の意見をまとめたスライドを共同で作成する。
- ・ Googleフォームを使って、授業の振り返りをする。
- ・ Googleドキュメントを使って、感想などを提出する。
- ・ 問題を解いていく過程をスライドを使って視覚的にわかりやすく説明するなどの活用もしている。

【活用のメリット】

- ・ グループ活動の際、各班がどのようなスライドを作成しているかが手元のクロムブックでわかるため、その後の授業構成について余裕をもって考えることができる。
- ・ フォームを使うと学習態度や質問事項等がすぐに確認できるので、時間を置かずにフィードバックできる。
- ・ 感想のまとめを作成する際、コピーアンドペーストすればよいので時間がかからない。未提出者が一目瞭然。まとめた感想をクラスルームで送るので印刷の手間が省ける。

【2 学年・日本史探究】

【授業における活用事例】

使用時



【授業について】

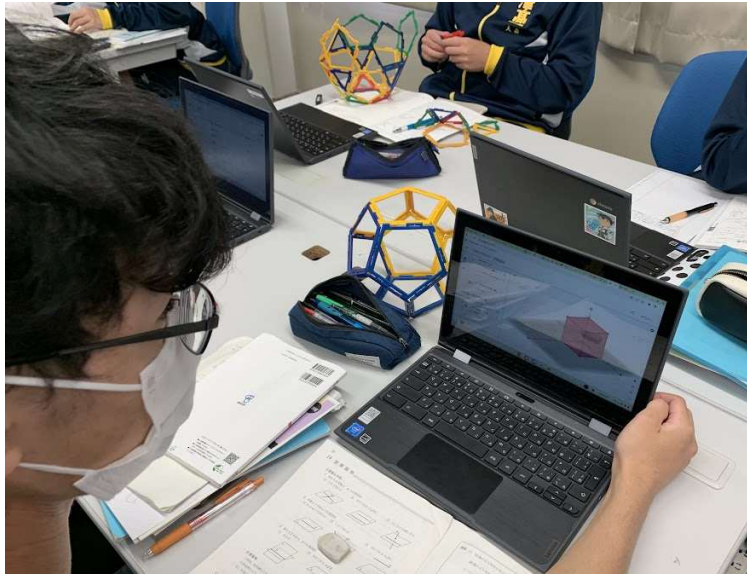
- 平常授業ではパワーポイントを用いて授業を進めている。本年度より単位数が少なくなった分だけ、なるべく黒板に書くのではなく、パワーポイントに示す内容のみで授業を進め、昨年度並みの授業進度を維持している。
- 調べ学習を含め、授業でわからない歴史内容が出てきた時もクロムブックで、映像も含め調べて理解するようにしている。
- 夏休みに自分の興味を持った日本史上の人物や事件、出来事を生徒一人一人が調べてまとめたものをPDF化した。それをクロムブックを使用して、クラスのメンバーのテーマ一覧から選んで読み、その意見感想をレポートとしてクロムブックを使って提出させた。

【生徒の様子】

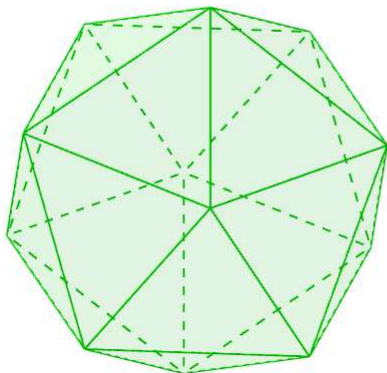
- 調べ学習では、クロムブックを使うことによりスムーズに調べられるため、授業進度のスピードアップに貢献できている。
- 感想のまとめを作成する際に時間がかからず、未提出者がすぐわかる。まとめた感想をクラスルームで送ると印刷の手間もかからない。

【1学年・数学A・図形の性質】

【ICT活用の場面】



GeoGebra

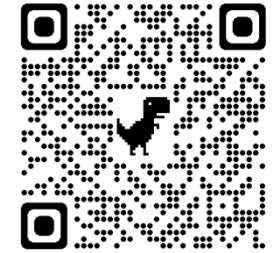


- 正六面体
- 正四面体
- 正八面体
- 正20面体
- 正12面体

【活用したアプリや機能】

GeoGebra（図形描画ソフト）・Googleスライド

問題で取り上げる多面体について、生徒が「ポリドロン」で実際に作って観察すること、「GeoGebra」を用いて自由にシミュレーションして観察することを体験した。取り扱った問題に加えて、正多面体の性質について考察を深めた。以下のQRコードはGeoGebraのリンクである。これらのリンクは授業で投影するGoogleスライドに添付しており、生徒に共有している。



【ICT活用のメリット】

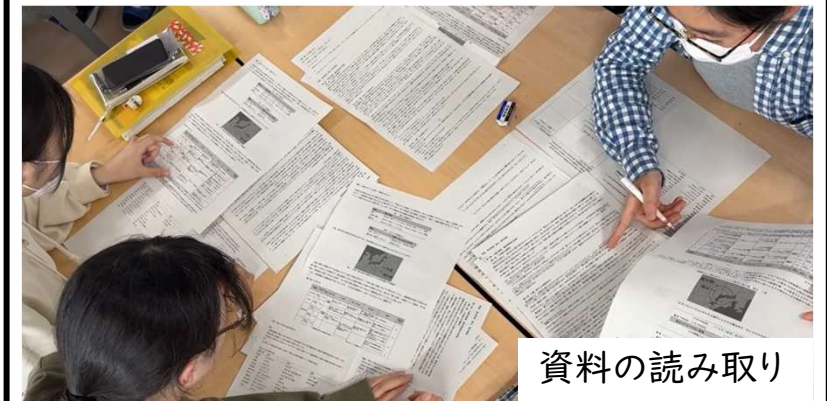
生徒は目の前にあるポリドロンで作成した正多面体と、GeoGebraで操作している正多面体がまったく同じものであることを知り、実物と遜色なくICTツールを用いて立体を動的に観察できることを実感している。意見交換をして思考することに活用している。また、自分のペースでいつでもどこでも何度でも観察・思考することができるため、自ら問題を創って、理解を深める活動が期待できる。

【3学年・地学総合（学）・気象災害と社会】

【授業の様子】



説明の場面



資料の読み取り



グループを越えて意見交流

【授業について】

探究的な題材

源氏物語「野分」に描かれた台風の進路の復元

はじめに

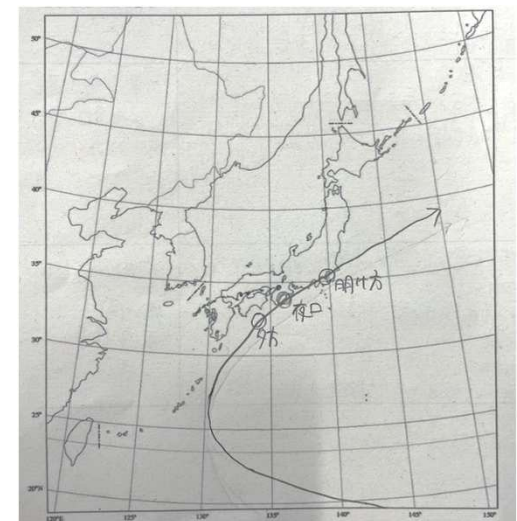
地学総合は、地学基礎を学んだあとに履修する学校設定科目である。この題材では、気象災害と社会に関連するテーマとして、古典文学作品における気象現象に着目する。

具体的な内容

複数ある資料から台風の進路の復元する探究的な活動を行う。物語の記述から台風に伴う風雨やそれに伴う被害状況の時間的推移を読み取る。それらを現在の基準の風向や風速に置き換え、被害状況から台風を進路の復元を図る。さらに、同様の進路をたどったと考えられている昭和9年の室戸台風の観測記録から、台風進路の復元の精度を上げるために必要な情報について考察する。

【生徒の様子】

- ・共通テストの問題作成方針の意図を理解し、探究的に学んだり課題解決に向けて協働的に学ぶ姿が見られた。
- ・気象的な知識（地学）だけでなく、古典（国語）や地形（地理）など、教科横断的な取り組みに、一生懸命取り組んでいた。



生徒の読み取り結果

【2学年・体育・体育理論】

【授業の様子】



【授業の流れ】

- ・5人1班を作り、体育理論のお題の中から、リーダー中心でテーマを決定する。共有ドライブ内にある自分の班のジャムボード内で動画・画像・グラフ等を使いながらテーマに沿った調べ学習を行う。最終日に全員の前で発表し、自己評価と他己評価をグループフォームで行う。

【ICT活用のメリット・デメリット】

☆メリット

- ・ジャムボードは全員が一度にアクセスでき、班員が一斉に書き込んでもリアルタイムで更新し、お互いの意見を自分のクロームブックで見やすく確認することができる。
- ・ホワイトボードや紙では消去、増加に手間がかかるが、ICTでは一瞬でやることことができる。また、進捗状況が常に確認できるため、調べる人、まとめる人など役割分担が容易にできる。
- ・欠席して、自宅にいる生徒もジャムボードであればmeetを繋ぎながら参加することができる。また、班員の半分は図書館で調べながら意見の書き込み等ができるため場所を選ばない。
- ・共有ドライブにデータがあるため、他の班はどのように進めているかなど、いつでも誰でも見ることができ、発表の際も印刷する手間がない。
- ・フォームを使えば自動集計され、素早く評価を見れる。

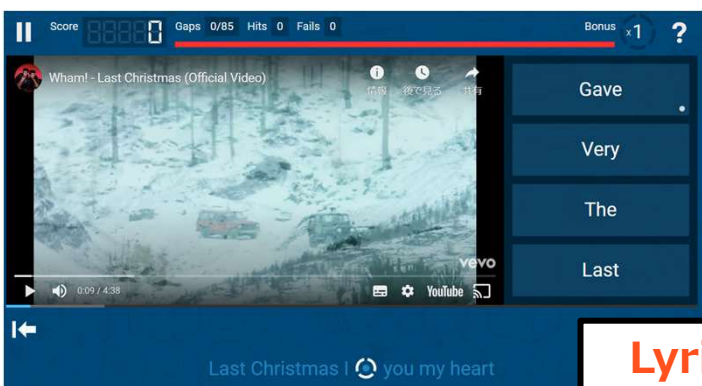
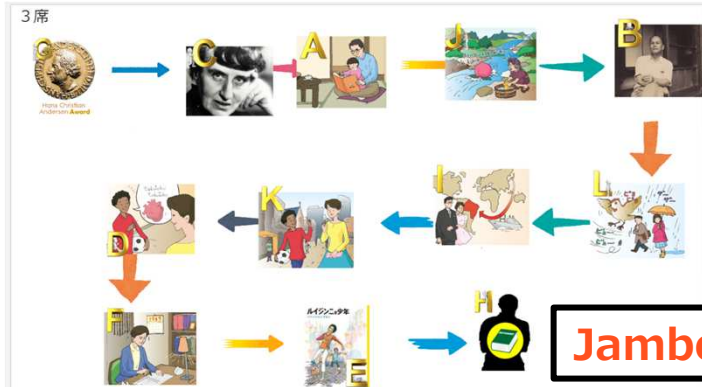
★デメリット

- ・他の班のジャムボードもいじれてしまう。
- ・クロームブックではない端末はタイムラグが生じるときがある。

【1学年・英語コミュニケーションⅠ】

【ICT活用の場面】

使用時



【活用したアプリや機能】

● Jamboard

レッスンの導入として、リスニングを通して内容を大まかに理解する活動を行った。その後、内容を表した絵を、本文の順番に合わせて並び替える活動を行い、本文内容の理解度を確認した。

● Lyrics Training

クリスマスに関わる授業で、Wham!のLast Christmasを用いたディクテーション活動を行った。その後、理解度を深めるために、Lyrics Trainingというウェブサイトを用い、ランダムで穴抜きとなる歌詞を聞き取り、打ち込む、または選択する活動を行った。

【ICT活用のメリット】

● Jamboard

紙に印刷された絵と違い、自由に配置を変えることができる等、直感的な操作をすることができる。また、生徒同士が解答を瞬時に共有ことができ、同時に教員からもフィードバックを与えることができる。

● Lyrics Training

ゲーム感覚で、洋楽を通して英語を学ぶことができる。また、個々のレベルに応じた学習を行うことができる。

【1年・家庭基礎】

【授業について】

前期にjambordによるグループ学習を2回実施したので後期については、個人活用を中心とした。

- ・ 被服分野・・実技動画をClassroomにあげ、個人で見ながら学習を進められるようにした。
- ・ 食物分野・・調理実習ではスライドを見せながら実習を進めた。時間ごとにやるべきことが把握でき、スムーズに実習をこなすことができた。

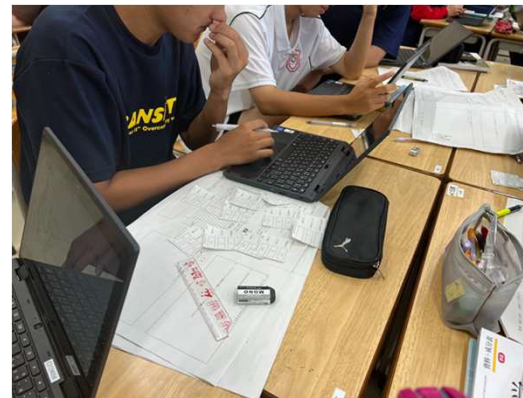
その他

- ・ 各單元ごとにスライドを作成し、黒板は極力使用しなかった。内容が難しいスライドについては、Classroomにあげ、各自で見ながらプリントに取り組めるようにした。
- ・ 夏休み、冬休みにClassroomを通じてレポート作成や練習問題の課題を出した。
- ・ 授業での調べ学習には各自が毎回使用するよう指導した。
- ・ テストの解説をClassroomを通じて行うことで、内容の確実な理解に努めている。

【生徒の様子】

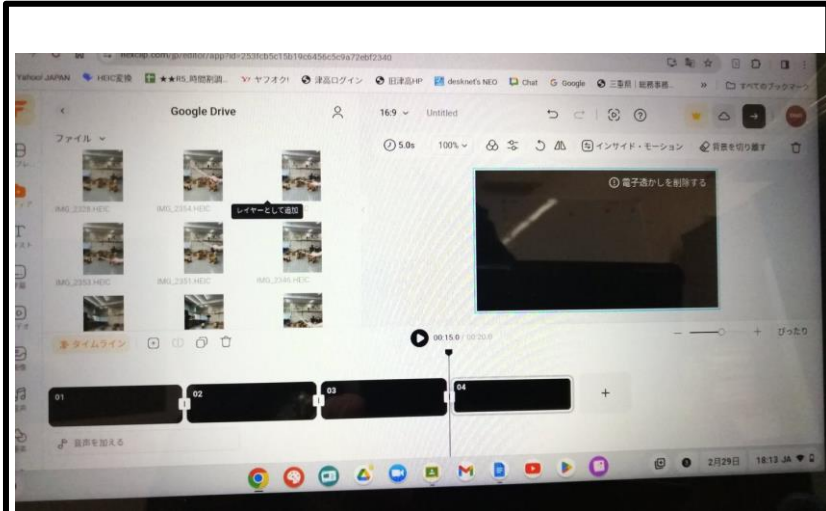
個人のペースで動画を見ながら学習を進められるので、より深い理解につながった。

問題点としては、毎回クロムブックを持参するように伝えてあるが、忘れる生徒もいて貸し出し用を利用する生徒が増えている。教科連絡もClassroomを通じて行っているが、見ていない生徒が多い。



【2学年・美術Ⅱ・平面構成とストップモーションピクチャー】

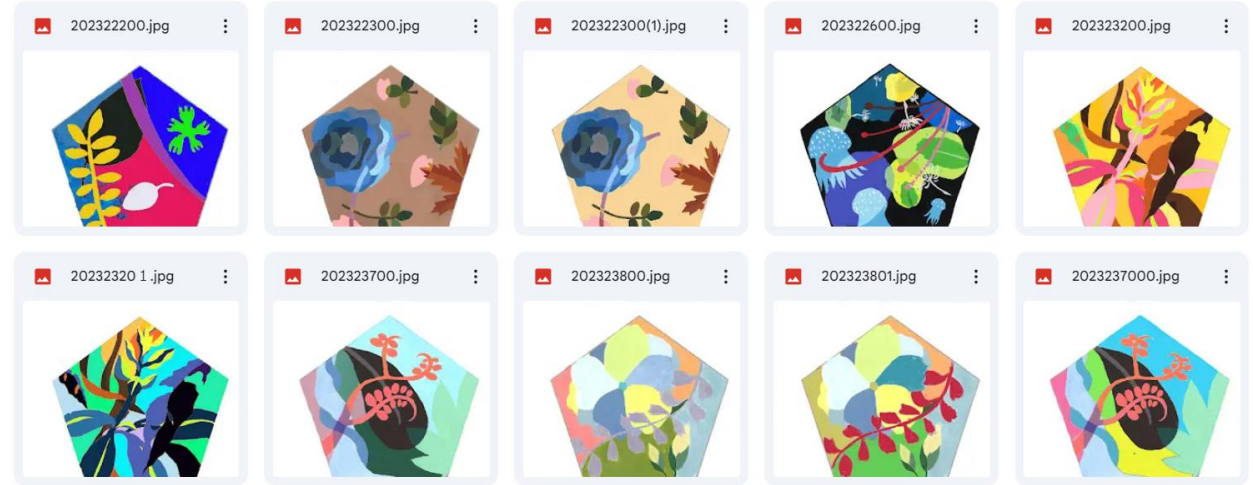
【ストップモーションピクチャーの授業】



【平面構成の授業】

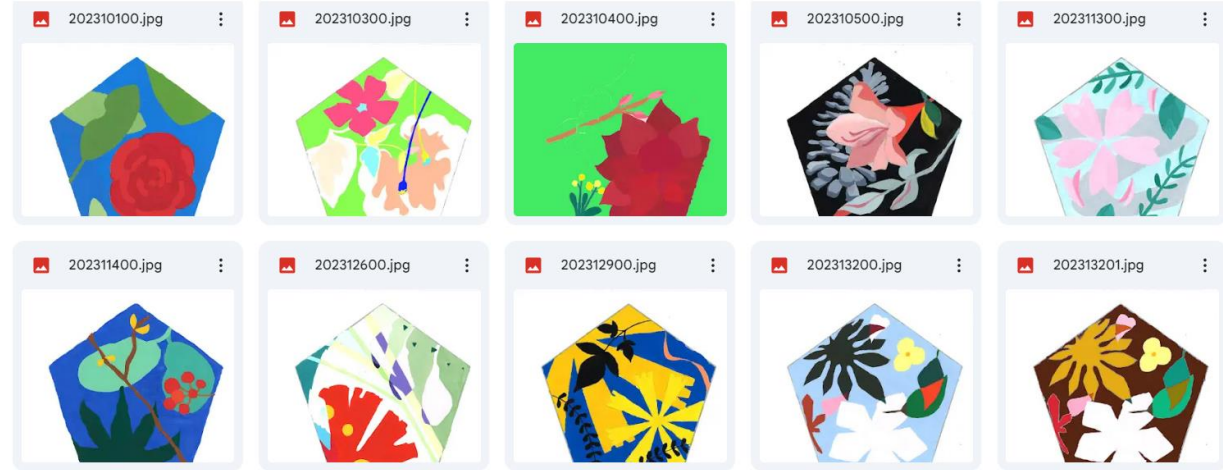
マイドライブ > 2023美術Ⅱ 2年2組 > 2023平面構成2組

種類 ユーザー 最終更新



マイドライブ > 2023美術Ⅱ 2年1組 > 2023平面構成1組

種類 ユーザー 最終更新



【2学年・美術Ⅱ・平面構成とストップモーションピクチャー】

【ICT活用の場面】←適当に変更

①以前に作成した平面構成の色を変えてみる。

事前に生徒の作品を画像としてスキャンしておき、授業用共有ドライブに入れておく。

各自、自分の作品の画像を使って、色の変更を行い、さらに良い作品にならないか、試してみる。

②前回の授業で撮った写真をつなぎ合わせてストップモーションピクチャーを作成する。

画像を読み込み、時間を調整し、余裕があれば音楽をつけてみる。

【活用したアプリや機能】

使用したサイト名

①フォトエディター Pixlr

[Pixlr エディター : Pixlr E - 無料画像編集ツール](#)

②動画編集ソフト FlexClip

[無料オンライン動画編集ソフト-数分でビデオを作成 | FlexClip](#)

【今回のICT活用のメリット・デメリット】

- ・ 絵具で色の変更を行うには時間がかかるが、PCでは簡単に変更でき、いろいろ試して最もよい配色を決定することができる。
- ・ 自分が撮った写真を使って、映像作品を作ることができる。
- ・ トラブルが多く、予定通り進められない。
生徒がアイフォンで撮った写真は変換しないと使えない。貸出したクロームではなぜが写真のプレビューが見えない。美術室でWi-Fiがつながりにくいことがある。